フランス式庭園

校章

農林高校新聞

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西八幡４５３３
ＴＥＬ０５５-２７６-２６１１
ＦＡＸ０５５-２７９-１４１３

本校卒業生が与えてくれた宝物

校長　中島勝人

この度、平成２８年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰が６月９日に総理大臣官邸で実施され、本校の代表として表彰式に臨みました。表彰式後、皇居に向かい天皇皇后両陛下様に御接見できました。

皇居坂下門前での入門チェックを終え宮内庁舎前を横切り、吹上御苑内の客殿に導かれました。玄関で侍従に迎えられ１３名の代表者は宮殿奥の間に案内されました。ピンクの絨毯で敷き詰められた廊下を歩き客間に入ると、そこは檜床で正面と左側がガラス戸となっており、皇居内の植生が一望できる豪華かつ品のある一室でした。１０分間程待機した後、侍従に導かれた天皇皇后両陛下が入室されました。園遊会や各地の行事、今回の熊本地震などの被災地など、メディア等を通して御拝見しますが、直接両陛下にお会いできるのは初めての経験であり緊張しました。

今回の受賞を代表して、元三重大学名誉教授の三井昭二氏から受賞の御礼の言葉が述べられた後、天皇陛下より御言葉が発せられました。これで御接見は終了かと思いましたら、両陛下は両側に分かれて、我々一人一人に御言葉を発せられ、直接両陛下と７分程お話をすることができました。

私から発した会話の内容は、今回の受賞に至った経緯や、本校創立１１２年の歴史のなかで、戦後この甲斐市の地に移転してからの開墾や環境緑化への取り組みなどについて、お話いたしました。両陛下からは、先人のご苦労に対してねぎらいの御言葉と、「今後も生徒・地域のための学校としてご努力を継続してください」と励ましの御言葉をいただきました。私にとっては恐らく人生一度の貴重な体験をさせていただきました。

この賞をいただけた経緯を考えますと、農林高校を卒業されました同窓生の「力・汗・涙」の結晶の賜と考えます。特に空襲で廃墟となった甲府市伊勢町から飛行場の跡地（現甲斐市西八幡）に移転してから開墾してから植栽されたヒマくしがたい御苦労があったと聞き及んでいます。開墾実習は、筆舌に尽ラヤ杉やフランス式庭園は、今や農林高校の校風として緑のスクールパークにふさわしい景観となっています。この様な美しいキャンパスは山梨県には存在しないと思います。また近年には、学校敷地内に自然風庭園・日本庭園・ビオトープ園の設置や緑化樹・防火樹の植栽等を計画的に実施して参りました。これらの取り組みは本校で学んだ同窓生が脈々と築きあげたものであり、農林高校の宝物（財産）であります。先人の御苦労に深く感謝すると共に、今後の農林高校の未来の繁栄に向かって更なる努力を継続することが卒業生（先人）の御苦労に報いることだと強く感じます。

本校で学ぶ生徒諸君には、この受賞を契機に本校の伝統や文化・歴史を学び更に母校を愛する心を育んでいただくと共に、自信と誇りを持って先人に負けない充実した学校生活を送りながら新たな伝統を築こうではありませんか。

ＪＯＣ全日本ジュニアレスリング選手権大会

３年環境土木科　田口学容

平成二十八年四月二十三日～二十四日に神奈川県横浜文化体育館で行われたＪＯＣ全日本ジュニアレスリング選手権大会において、カデットの部グレコローマンスタイル６９ＫＧで出場した３年環境土木科、田口学容君が優勝を果たし、日本代表として九月に東ヨーロッパのジョージアで行われる、世界ジュニアレスリング大会に出場することが決定しました。各ブロックから勝ち上がった選抜から成るトーナメント大会で、一回戦から決勝まで気が抜けない戦いでした。田口君は実力はありながらも大きい大会で、なかなか本来の力が発揮できず、思うような結果に結びつかない日々が続いていました。今大会に賭ける彼の決意は大変固く、練習調整においても良い仕上がりを見せてきました。決勝戦での相手は、和歌山県和歌山北高校の辻開成君との対戦となりました。予想通り、相手の辻君も一回戦から危なげない圧倒的な力を見せ、決勝まで勝ち上がってきた選手です。試合前半は拮抗した点数の動かない試合運びとなりましたが、後半で田口君が勇気を持って、得意の大技でもある「反り投げ」を決めて、試合を有利に運び、優勝をつかみ取ることができました。

今大会での勝因は彼の「チャレンジする勇気」でした。ジョージアでの本大会でも勇気を持って日本代表、農林高校代表として自信に満ちた戦いを期待します。また、今年度も多くの場面で皆様方から物心両面に渡ってのご支援、ご協力を賜りこの場を借りて深く御礼申し上げます。今後も農林高校レスリング部の原点である「学業と部活動の両立」という姿勢を貫きながら、妥協なき戦いを続けて参ります。

（レスリング部顧問・平井満生）

日々の努力を形に・・・　陸上部　関東大会

陸上部では６月１７日～６月２０日まで、東京都の駒沢オリンピック公園総合運動場で行われた関東大会に五種目４名の生徒が参加しました。男子では、穂坂快晴（３Ｓ）が１５００㍍と３０００㍍ＳＣ、浅田将也（２Ｈ）が５０００㍍、女子では、村松実輝（２Ｓ）が８００㍍、石井彩（３Ｓ）が３０００㍍で５月の県高校総体にて入賞を果たし、関東大会に臨みました。

関東大会では、各選手が自己記録の更新、予選突破を目標として各種目に出場しましたが、他県選手のハイペースなレース展開に思うようなレース運びができず、目標には届きませんでした。しかし、その中でも自分よりも自己記録が上の選手達に対して、臆することなく肩を並べ積極的な走りをすることができたことは、今よりも更に上のレベルを目指す各選手にとって、とても有意義なものであったと思います。陸上部に所属する生徒達は皆、自己記録の更新や大会での上位入賞、秋に行われる高校駅伝での上位入賞を目標に日々の練習を積み重ねています。「継続は力なり」という言葉が示すとおり、一日一日の練習を大切にしながら、自分たちの努力を「形」として表す日を目指しています。ひたむきに取り組む選手達をこれからもあたたかく見守っていただければ幸いです。

（陸上部顧問・雨宮将彦）

『田植え祭り』

～一年生全員と保護者で田植え体験～

六月七日（火）田植え祭りを実施しました。朝、神農神社に稲の苗と収穫した野菜・果樹をお供えし、田植えの安全と豊作を祈願しました。管理職・農ク会長・生徒会長・一年生各ＨＲ長五名が奉納しました。午後の田植え祭りでは、一年生百五十五名と参加希望のあった一年生保護者が田植え体験を行いました。昭和二十四年度からの記録を考えると今年で六十七回目となる伝統行事です。生徒は田植えをとおして、主食である「米」の生産への意識を高めることができました。田植え後、本校で生産した「黎明米」のおにぎりと食品科学科で製造したネクターで会食をし、「食」の大切さを学ぶ学習となりました。

この秋には、各学科の「農業と環境」の授業での収穫体験を計画しています。さらに、本校最大の行事である十一月十二日（土）の収穫感謝祭では、今回植えた新米を販売する予定です。米の品種は、「コシヒカリ」と「コガネモチ」です。田植え当日は、一年生全員が真剣に田植えをする姿がありました。今後の稲の生育状況に興味関心をもって学んで下さい。

（農場長・村松泰直）

校内意見発表会

意見発表は農業クラブ活動において全員が参加できるものの一つです。日頃考えていることや実践していること、将来の抱負や提言などについて、二、三年生は春休みの宿題で、一年生は五月に全員が原稿を提出しました。クラスの代表を選考し、六月一日に学科別発表会を行いました。そこで選ばれた一六名（システム園芸科３名、森林科学科３名、環境土木科２名、造園緑地科４名、食品科学科４名）が、六月一五日（水）の校内大会で堂々と発表しました。そのうち一年生が３名発表したので、良い経験になったと思います。

今年度から発表分野や審査基準等が変更になり、Ⅰ類（生産・流通・経営）、Ⅱ類（開発・保全・創造）、Ⅲ類（ヒューマンサービス）とかなり明確に区別されます。当日は各自の意見を分かりやすい表現や態度で発表し、聴衆の生徒も真剣に聴いて感想を書いてくれました。審査の結果、次の各分野最優秀一名と次点一名が七月一五日に開催される県連各種発表大会に出場し、八月の関東大会を目指します。

○Ⅰ類　２Ｈ深沢有紗「姉に食べさせたい～無農薬で野菜栽培～」　○Ⅱ類　３Ｇ小宮裕壱「動植物からの恩恵」

○Ⅲ類　３Ｈ鈴木彩水「食育応援隊を目指して」　３Ｇ石田綾香「特産品で地域活性化！やはたいもでみんな元気にプロジェクト」

（農業クラブ主任・宮澤芳美）

第68回山梨県高等学校総合体育大会

平成28年度第68回山梨県高等学校総合体育大会が5月11日(水)から3日間行われました。初日は雨天でしたが、各部とも毎日の厳しい練習の成果を発揮し、熱のこもった試合が見られました。高校総体3日間は、緊張しながらも他校の選手たちと競い合い、勝利を目指す姿に農林高校の生徒としてのプライドが感じられました。生徒たちは精一杯持っている力を出し切ってきたと思います。高校総体に引き続き夏のインターハイ予選が6月に、新人戦が秋に実施され、熱い戦いが続きます。生徒たちの部活動での成長と成果を期待しながら、今後の農林高校生の活躍を心から応援したいと思います。

◇陸上競技部
▽1500m 穂坂快晴第5位 笠井虎壱第11位 浅田将也第12位 ▽5000m 浅田将也第6位 澤登恒河第10位▽3000mSC 穂坂快晴第6位 笠井虎壱第8位 石原大誠第9位▽5000mW 中村維吹第7位 荻原央隆第8位▽800m 村松実輝第6位▽1500m 石井彩第8位 村松実輝第13位▽3000m 石井彩第6位 田中栞第7位 石原朱理第14位

◇レスリング部
◎団体戦「2位」 農林3―4韮崎工業
◎個人戦【フリースタイル】▽50kg 樋川悠作 第2位▽55kg 神田優人 第1位 55kg 松本健新 第3位▽60kg小山晃平 第2位 60kg大佐古海斗 第5位60kg 山崎 翼 第4位▽66kg 田口学容 第2位66kg 橋本楽人 第3位 66kg 小林大悟 第4位▽74kg 山本丈介 第1位 74kg 飯久保翔太 第2位▽84kg 小澤秀太郎 第2位▽96kg 大野健太 第2位▽120kg 髙橋三十郎 第1位
【グレコローマンスタイル】▽50kg 樋川悠作 第2位 ▽55kg 神田優人 第1位 55kg 松本健新 第3位▽60kg 小山晃平 第2位 60kg 大佐古海斗 第4位 60kg 山崎 翼 第6位▽66kg 田口学容 第2位 66kg 橋本楽人 第3位 66kg 小林大悟 第6位▽74kg 山本丈介 第1位 74kg 飯久保翔太 第2位▽84kg 小澤秀太郎 第3位▽96kg 大野健太 第4位▽120kg 髙橋三十郎 第1位

◇ソフトテニス部◎団体戦【男子】 農林0―3吉田
◇卓球部◎団体戦【男子】 農林1―3山梨学院高校◎団体戦【女子】 1回戦 農林3―2増穂商業 2回戦 農林2―3日川
◇弓道部◎団体戦【男子ABチーム】2回戦敗退、【女子チーム】3回戦敗退
◇テニス部◎団体戦【男子】 農林0―3笛吹 ◎団体戦【女子】 農林0―3上野原
◎シングルス 高山洋 2回戦敗退
◇剣道部◎団体戦【男子】 1回戦敗退 農林2―2(本数差)日大明誠 ◎個人戦2回戦敗退 浅野吉輝 1回戦敗退 浅野正貴・伊東京兵・望月雄樹
◇バスケットボール部【男子】1回戦 農林58―59塩山
◇サッカー部 2回戦 農林0―1吉田
◇柔道同好会 1回戦 農林0―5身延

（生徒会指導主任・清田徹麿）

平成二十八年度 PTA総会

四月二十三日（土）本校黎明館においてPTA総会が開催されました。総会には約百名の保護者に参加していただき、杉浦厚香様が平成二十八年度PTA会長に選出され、今年度の本格的な活動がスタートしました。秋の収穫感謝祭で出店されるPTAの模擬店は毎年好評で、役員の方々が協力している姿は、とても印象的です。

また、PTA総会に先立ちまして、第三学年では、（株）JSコーポレーションの山本博貴氏を講師に迎え、「進学・就職にあたっての心構え」をテーマに進路講演会が開かれました。六十名を超える多くの保護者に来校していただき、現実的な進路の話に、保護者の方から「わかりやすかった」という感想をいただきました。

今年は、七月八日（木）～九日（土）、関東地区高等学校PTA連合会大会が山梨県で開催されたため、大会の運営を任されるという、例年にない活動が加わりました。本会役員を中心に、三十名で大会の運営に携わり、関東地区のPTA活動の発展に寄与することができました。この大会運営のため、例年以上にPTA活動が多く、負担が大きくなっていると思います。その中で、多くの方々に協力していただき、感謝しております。

（総務企画副主任・小川祐子）

『白磁の人』を読んで

1年2組　望月沙織

この作品を読み終えた時、私は強く思うことがあった。それは浅ましい自分に対する思いと今後の生き方であった。

世の中の誰一人、同じ生き方をする人間などいないことも、他者がそれを否定する権利を持っていないことも理解していた筈だったが、私はこの作品に描かれていた浅川さんのような言動を起こすことができなかった。私は外国の人にあまり良い感情を抱いておらず、一生懸命頑張っている人々のことを考えずに「あの国の人は皆物騒だ」とすべてを悪だと決めつけ、その国そのものを許すことさえできなくなってしまうことがあった。私はその国に行ったことすらないのに、勝手にその国を評価し、忌み嫌っていたのだ。

浅川さんの行いは私とは真逆のものだった。浅川さんは自他への誠実さと確かな観察眼で、朝鮮の人々に憎まれても、それぞれの本当の性質をきちんと理解し、さらには無限大の意欲と温かさで朝鮮のために尽力していた。また、同じ日本人からの蔑みを受けても、最愛の存在を亡くしても、決して朝鮮とその民を救うことを諦めなかった。そんな浅川さんの人生を見て、私の言動はなんて惨めなものだったのだろうと思い知らされ、同時に浅川さんのような温かみがあり、自分以外のどんな人間にも優しく、そして自分の最期が近づいても自分以外を案じ続けた美しい心を持ちたいと思った。

浅川さんという存在を記したこの作品は、今の世の中そして未来を世界中の人々にとって良い方向に変化させてくれることだろう。浅川さんのような思想を持つ者が増えれば、お互いを深く思いやる者が多くなり、少しでも平和を目指す意見も多くなるのではないだろうか。私達が今後、一人一人とどう接したら良いか考えるか否かで、世界は大きく動くことになるだろう。

註：『白磁の人』は明治42年度の農林高校卒業生であり林業技術者として朝鮮の緑化に貢献した浅川巧氏の生涯を描いた小説であり映画化もされた。

浅川　巧 氏

第六回「花曇（はなぐもり）」ふるさと俳句大会

この俳句大会は、農林高校出身の著名な俳人である福田甲子雄（きねお）先生の功績を偲（しの）んで毎年開催されているもので、今年で六回目を迎えました。県内外の一般の方々からの投句に加えて、本校は福田先生の母校であることから、生徒は特別に参加させていただいており、「先人に学ぶ事業」の一環として、俳句や川柳の創作活動に取り組んでいます。

今回も、現二・三年生が春休みの課題として、一人二句ずつ投句しました。その結果、高校生の部として、「特選」三句、「秀作」十句、「入選」四十二句が選ばれました。五月二十二日に桃源文化会館で披講（ひこう）（入賞作品の披露と講評）並びに表彰式が行われ、「特選」「秀作」に選ばれた生徒のうち五名が出席して、大勢の出席者の前で表彰されました。

「特選」「秀作」に選ばれた作品は次のとおりです。

特選

夏の日の母校見守るヒマラヤ杉　三科森林科学科　横森真依
春霞空に溶け入る八ヶ岳　三科森林科学科　依田拓己
幾千の想い流るる花筏　三年食品科学科　伊藤　快

秀作

ランナーの背中越えゆく春の風　二年システム園芸科　浅田将也
また会おうハイビスカスの咲く頃に　二年森林科学科　飯野大輔
太陽が海をてらして夏がくる　二年環境土木科　野中楓樹
自転車のかごの中より春の風　二年造園緑地科　戸倉勘汰
冬の虹まだある空へ伝書鳩　二年造園緑地科　西川翔太
桜にね提灯ならび人騒ぐ　二年食品科学科　澤登恒河
新学期机の傷に歴史ある　三年システム園芸科　穐山尚生
ふとしたらひらり落ちゆく春落葉　三年システム園芸科　小林麗華
春嵐自転車進まぬ登下校　三年システム園芸科　志村咲季
夏川の水の冷たさ一斉に　三年システム園芸科　望月優輝

（教頭・宮川尚巳）

ふれあい市場
新鮮な農産物を販売しています！

農場の東門に「ふれあい市場」があります。本校の農産物を販売しているところです。地域の方から大好評を得ています。ぜひ、お立ち寄りください。販売期間は5～7月と9～12月です。のぼり旗が立っていれば販売中です。（ただし、売り切れの場合があります。）